

そろばん塾PICOって??

京大個別会そろばん塾PICOは2007年8月に京大個別会【株式会社 千学館】というオンライン予備校が2007年8月に開校したそろばん教室です。

日本の伝統的な計算技術である「そろばん」は、電卓やパソコンの登場、算数教室の広がりの中で、業界全体がシュリンクしていきました。

珠算検定受験者はだんだんと少なくなり、そろばんをつくる職人さんも減り高齢になっていきました。

業界全体がシュリンクする中で、京大個別会は採用した現役京都大学生の習い事データをヒントに「そろばん」に注目。

そして、そろばんの達人 (スーパーキッズ) を目指すのではなく、

子どもたちの数字嫌いをなくし「受験」に役立つ計算力・集中力・忍耐力を身につけるための新しいそろばん教室を開校したので

右脳開発のためのそろばん ~ 未来に強い子 ~



5G・AI・オンライン教育・テレワーク・新しい大学入試...
すごい時代がやってきました。

でも PICOで学んだ子は大丈夫。AIに打ち勝つ究極の右脳教育「そろばん」で脳を鍛えているから。

「そろばん」は数を映像としてとらえ右脳を使って計算する技術。また、効用は計算力だけではありません。右脳を使うのでイメージ力や集中力が飛躍的に伸び、数や計算に関する劣等感がなくなります。さらに、数や計算に関する独自の感受性もドンドン磨かれます。AIには 真似のできない世界なのです。

受験準備のためのそろばん ~ 受験に強い子 ~



首都圏・PICO教室の保護者の皆さんの合言葉は「年長になったらPICO」です。
そろばんを受験準備のはじめの一步と位置づけ、小4までに右脳の後頭部にそろばん脳を創ることを目標にしています。

受験準備といっても中学や高校でやる内容をドンドン先取りすればよい...というものではありません。
あせらず子どもの脳の成長や年齢にあった論理力・思考力の養成をする必要があります。

小さな子どもにいきなり難しい思考を要求しても混乱するだけでうまくいきません。
そこで受験準備のはじめの一步として、「思考しないで」数と計算に自信が持てる技術を伝授するこれがそろばんです。
指先のそろばん作業を通じて数と計算に自信がもてるそろばん脳をつくり、日々のおけいこを通じて集中力や忍耐力を身につける。
これをベースに子どもの域の成長や年齢にあった論理力と思考力を積み上げていく。

これがPICOが提案したい「受験準備のためのそろばん」です。

予防と治療のためのそろばん ~ 算数に強い子 ~



数と計算といえば、小学校で学習する算数では小2の1学期でクラスの半分が撃沈します。

筆算で計算するとメチャ混乱する子が出てきます。これを引き算混乱モンスターと呼んでいます。
小学校の算数には、このように思考を混乱させるモンスターが5匹登場します。

- 小2...引き算混乱モンスター
- 小3...いきなりそろばんモンスター
- 小4...4桁・2桁のわり算モンスター
- 小5...パーセントモンスター
- 小5...桁数アレレゲンモンスター

要するに小2でクラスの半分が撃沈し、小4で計算嫌いが急増するのが現実です。
できれば予防として年長からそろばんをすることをおススメしますし、
もうすでに小2以上でモンスターにやられている子どもには、そろばんで治療を行うことをおススメします。

思考ではなく、指先の作業だけで数と計算に自信をもつ... そろばん最強伝説! そろばんは最強の受験準備です。